

農業支援サービスに係るニーズ等調査 結果報告(概要)

令和3年7月

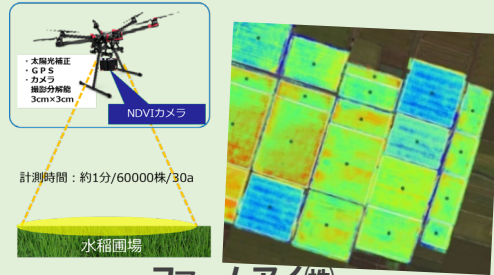
**農林水産省
農産局技術普及課**

- 日本農業法人協会の会員999件を対象に、
2020年11月9日～11月24日までアンケート調査を実施。
- 株式会社日本総合研究所に委託のうえ調査を実施。

(参考)農業支援サービスの類型

判断サポート

○データ分析型



ファームアイ(株)

ドローンによる作物の生育状況のセンシングを実施



テラスマイル(株)

生産や市況などのデータを分析し、最適な出荷時期などの提案により農業経営をサポート

○専門作業受注型



JA鹿児島県経済連

JA組合員から防除作業を受託し、ドローンを活用した農薬散布作業を代行



ジェイエフーズ宮崎

契約農家の作業をジェイエフーズ宮崎や農業法人が分担して受託

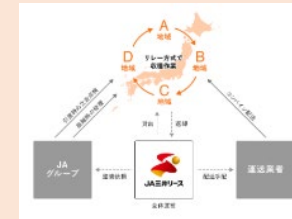
作業サポート

○機械設備供給型



inaho(株)

収穫高に応じた自動収穫ロボットサービスを展開



JA三井リース(株)

作業時期の異なる農業者と地域で、農機シェアリース

○人材供給型



(株) エイブリッジ

各地の繁忙期に着目して社員を専門的に育成・派遣

複合サポート



(株) オプティム

センシングに基づく農薬ピンポイント散布等の栽培管理ソリューションを無償で農家が活用。オプティム社が、生産物を農家から買取り、販売



ヤンマーアグリジャパン(株)

ドローンによるリモートセンシングで測定・分析したデータをもとに、無人ヘリで可変施肥

調査報告書内容の概要

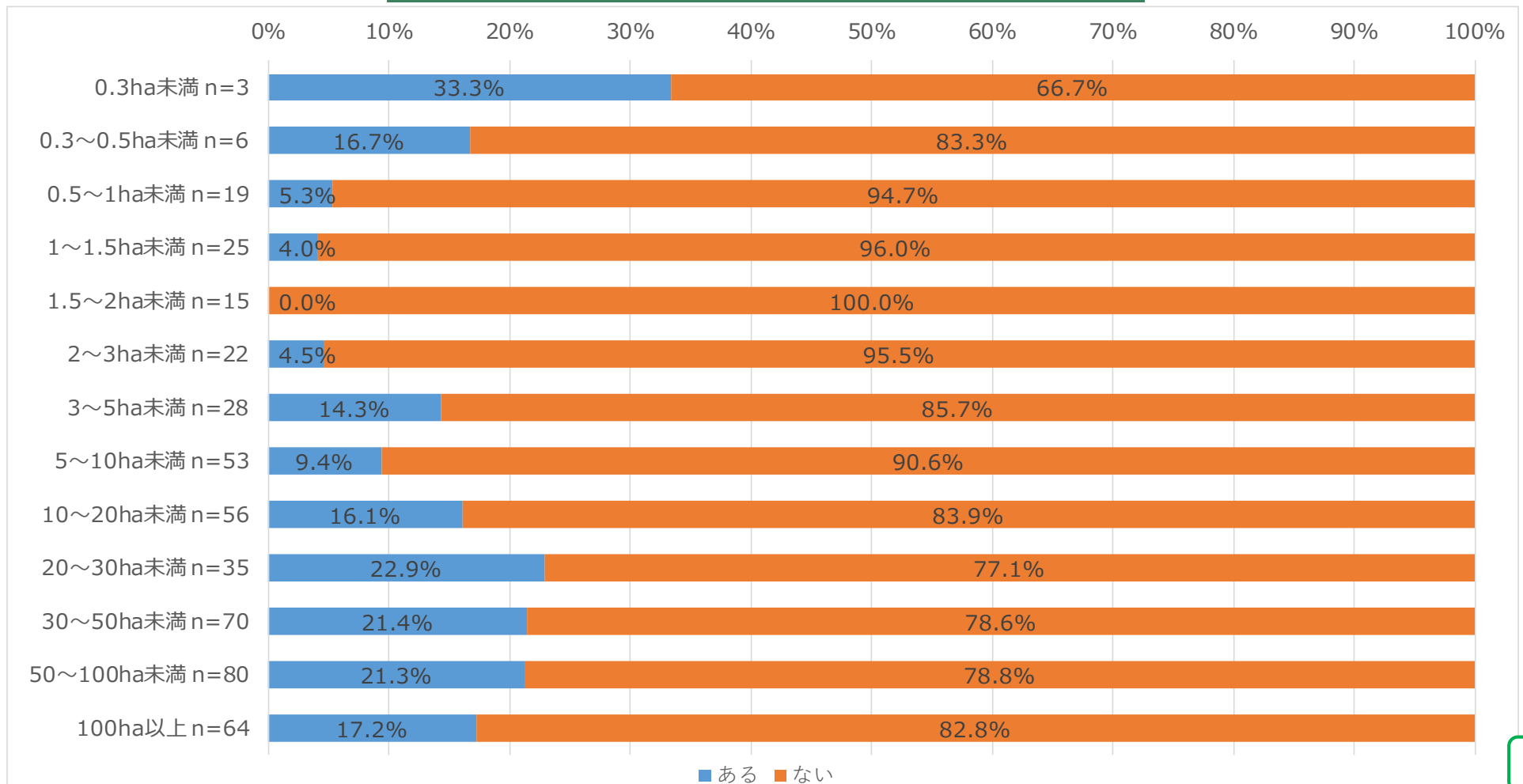
○ 報告書の内容は大きく分けて次の5つの項目。

- ① 農業者の経営課題
- ② 必要と考える農業支援サービス
- ③ 農業支援サービスの利用実績
- ④ 農業支援サービスの利用意向
- ⑤ 専門作業受注型サービスを利用すると仮定した時に
依頼したい作業

③ 農業支援サービスの利用実績

- 1.5ha～0.3ha未満までの小規模層、2～30haまでの中・大規模層では農業支援サービスの利用実績は増加傾向であるが、30ha以上の相当大規模層以上になると利用実績は低下傾向となる。

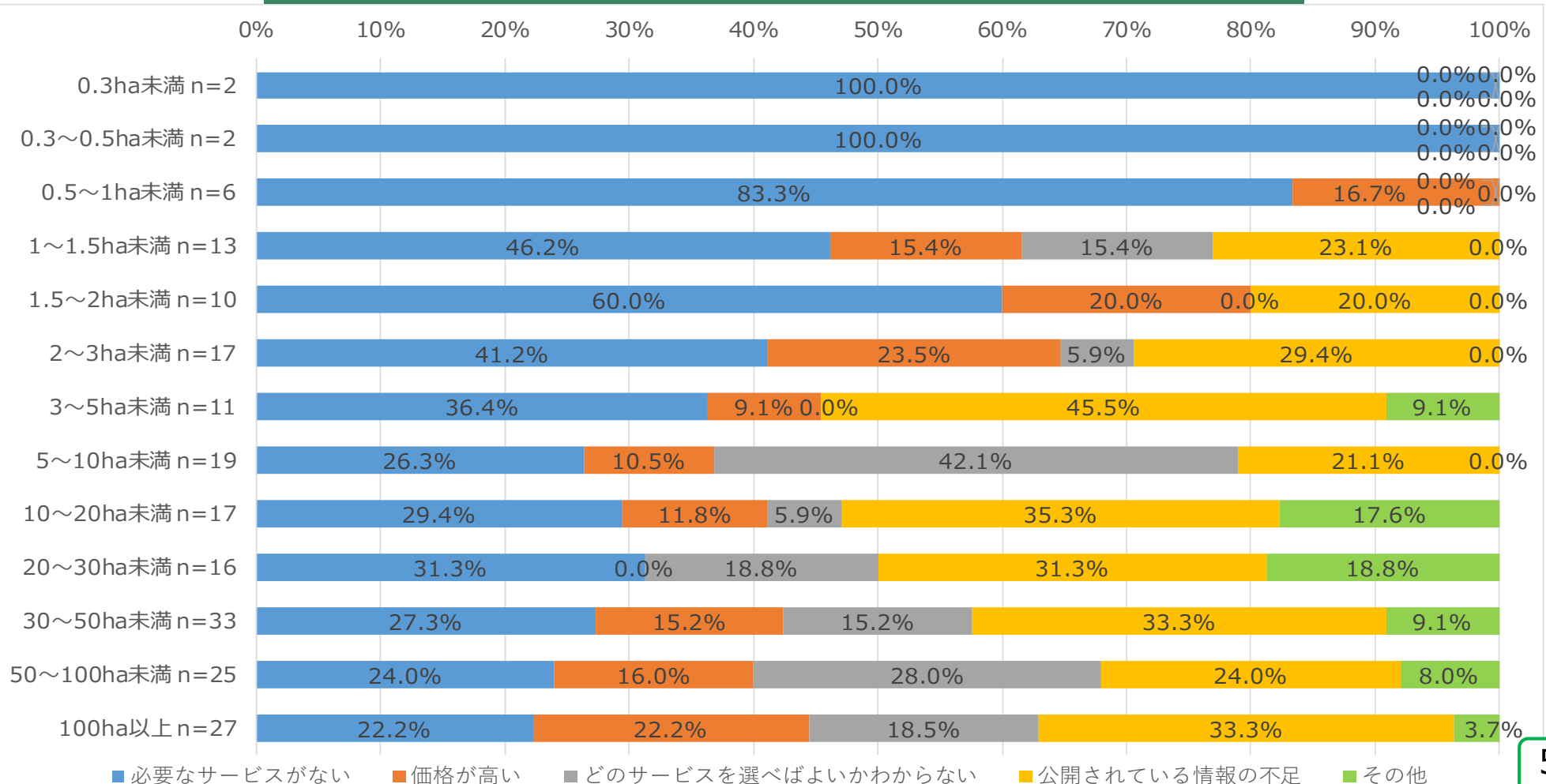
図表3 - 9 栽培面積 × 実績（単一選択）



④農業支援サービスの利用意向

- サービスの利用意向がない理由について、栽培面積が5ha未満は「必要なサービスがない」が多いが、10ha以上になると「公開されている情報の不足」が多くなる。

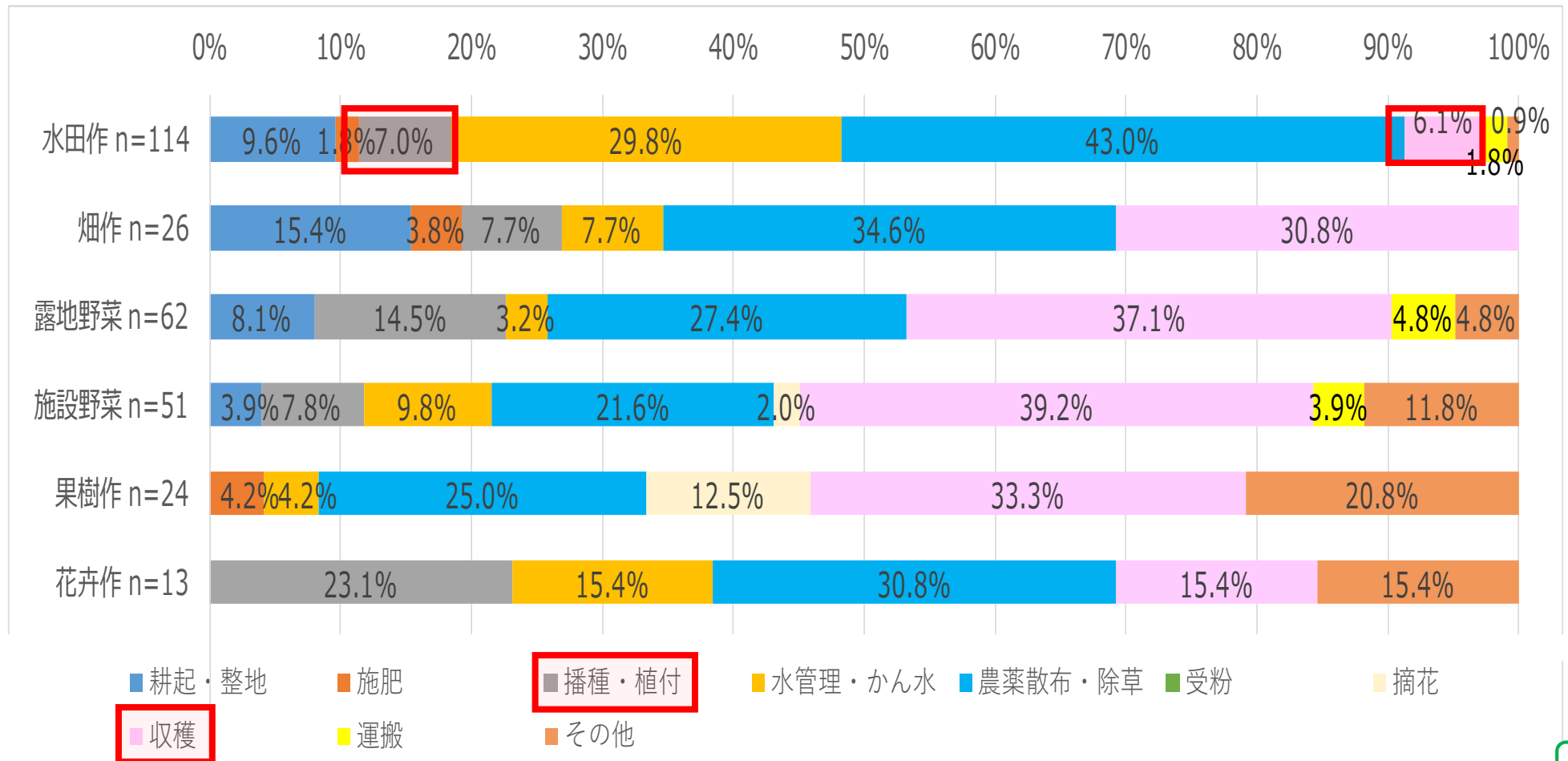
図表3 - 12 栽培面積 × 利用意向がない理由（複数選択）



⑤ 専門作業受注型サービスを利用すると仮定した時に依頼したい作業

- 水稻では春作業（播種・植付）と秋作業（収穫）が繁忙期となる一方、これら作業において専門作業受注型サービスを利用したいと回答した者が少なかった。

図表3 - 13 専門作業受注型サービスの希望品目 × サービスの類型（単一選択）



トピック

- ## 1. 農業支援サービス事業とは

農業支援 〆フとは、農業現場における作業代行やフット農業技術の有効活用により生産性向上を支援。農業者に対し、ア

6. 令和2年度農業支援サービスに係るニーズ等調査委託事業の調査結果

農業支援サービスに係る農業者のニーズや活用実態等について委託調査を行いました。結果について掲載しますので、今後のサービス展開等にご活用頂ければ幸いです。

調査結果概要

調査結果資料（抜粋）

こちらからもどうぞ！



U R L : <https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html>